



平成 26 年 12 月 19 日  
 第 7 号 (冬号)  
 南つくし野小学校  
 南つく蝶プロジェクト  
 代表 河野哲也

## 蝶の食草・食樹レストラン

河野哲也

南つく小の児童達は、給食で出たかんきつ類の種を撒き、アゲハチョウの幼虫の食草として苗を育てました。育てたかんきつ類には、アゲハチョウが飛来し卵を産み、幼虫から蛹への変化を経て蝶となりました。規模は小さくとも食草の育苗からアゲハチョウの繁殖に至るまでの自然の仕組みと変化を体験しました。

品川区の小学校では、おやじの会の協力を得てビオトープ花壇に蝶の食草セットを植えて食草園を造り、更には近隣の小学校、中学校と連携して蝶の道作りに参加をしています。蝶をシンボルとする自然の復活には、蝶の食草・食樹を育てることが必須であります。言葉を換えれば、蝶のための食草・食樹レストランとそれを結ぶ蝶の道を南つく小から街へと人の手で作ることであります。

昆虫や植物の眠る冬の季節に、来春への期待に思いを馳せつつ、蝶のためのレストラン作りを子供達と一緒に考えることが新しい一歩となります。

### ■ なんの実かな？ <sup>せん</sup>線をたどってみよう。 ■

みんなが、一番よく目にするどんぐりです。

どんぐりのぼうしは、バナナの皮のようにめくれます。

大きくて細長いどんぐりです。

小さなどんぐりで、ぼうしは、しましまです。

丸い大きなどんぐりです。

**ヒマラヤスギ**  
 上から見た形がバラの花に似ているので、シーダーローズとも言います。

**モミジバフウ**  
 モミジのように手の形をした葉をつけます。

**スズカケノキ**  
 すずかけ台の駅前で見るすることができます。

**シラカシ**  
 濃い緑色の葉で、公園などでよく見られます。

**クヌギ**  
 葉のふちはとがり、カブトムシなどがこの木に集まります。

**コナラ**  
 林などでよくみられ、昔はまきに使われていました。

**ステダジイ**  
 葉の裏は少し金色で、どんぐりは食べることができます。

**マテバシイ**  
 濃い大きな緑色の葉で、つばき公園で見ることができます。

かつどう しょうかい  
活動の紹介

9月20日 バタフライガーデンの観察とキャベツ畑でのアオムシの観察

花だんの植物の観察をしてから、プランターに菜の花の種をまきました。  
そのあと、近所のキャベツ畑でモンシロチョウの幼虫を探しました。  
春より幼虫は少なく、卵を見つけ持ち帰りました。

10月4日・18日 地域探検（長津田周辺）

グループに分かれてゴールを目指す「ウォークラリー」を行いました。  
身近な自然である東工大近辺を歩きながら、途中にあるクイズに答えを考え、たくさんの生き物を観察するなど、秋の野山を満喫しました。わからない虫がいたら、特別ゲストのチョウ博士に聞いたり、図鑑で調べたりしました。18日のゴールは、高尾やまの飯縄神社になりました。



11月15日 田園地域の自然観察（恩田地域）

田奈駅に集合して秋の田んぼや畑の広がる景色を見ながら恩田川沿いを歩きました。恩田川では、たくさんのコイやカワウを見つけることができました。  
畑では、サツマイモとサトイモを掘りながら、土の中や作物にいた虫も観察しました。



12月13日 花だんの観察と木の実の工作

花だんの観察のあと、木の実で工作をしました。

